

「健康と環境／障害の防止」

～MEGA CRISIS 巨大危機！ 南海トラフ大地震 その時あなたはどうする？～

本単元で育成する資質・能力

(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性
(教科) 知識を活用して多様な解決方法を考える力

- 1 日 時 平成29年11月17日 11:50～12:40
- 2 学 年 第2学年1組, 2組 (1組女子20名 2組女子22名 つばさ1名 合計43名)
- 3 場 所 2年2組教室

4 単元について

- 本単元の自然災害による障害の防止は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒などによる危険が原因となって生じること、また、地震に伴って、津波、土砂崩れ地割れ、火災などによる二次災害によっても生じることが理解できるようにする。

自然災害による傷害が災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じることから、その防止には、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、地震などが発生した時や発生した後、周囲の状況を的確に判断し、冷静・迅速・安全に行動すること、事前の情報やテレビ、ラジオ等による災害情報を把握する必要があることを理解できるようにする。

- 本学級の生徒は、非常に活発に活動することができる。体育分野の学習においては非常に意欲的に取り組むことができ、グループでの活動にも慣れている。保健分野の学習におけるグループ活動においても、話し合いを活発に行い互いに意見を出し合い丁寧にまとめることができる。しかし、話が盛り上がりすぎてしまうなどの課題もある。メリハリを持って授業を行いたい。

これまでの時間では障害の発生要因・交通事故の発生要因・危険予測と回避・犯罪被害の防止について学んでいる。

- 保健分野は、実生活につながる学習内容が中心である。特に障害の防止に関してはより身近なことである。日本は地震大国である。2011年の東日本大震災では、中学生が普段の訓練や学習での知識を活かして、津波から逃れたという例もあるように、自らの身を守る知識は非常に重要である。近年、地球温暖化による異常気象やまた巨大地震が予想される中で中学生においても災害に備えることができるように指導をしていきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力, コミュニケーション能力, 主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科, 領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、「解決したい」或いは「達成したい」学習課題を設定し、学習班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3
知識・スキル	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）			
	表現力・コミュニケーション能力	（話す） 自分の考えや意見を，自分のことばで，表現することができる。	わかりやすく（伝える） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，自分のことばで，表現することができる。	（説得する） 自分の考えや意見を，わかりやすくまとめ，目的や場に応じて，適切な方法で，表現することができる。
		（聞く） 相づちを打ちながら，途中で口をはさまず，聞いている。	（聴く） 話の組み立て構造を考えながら，相手の意図や要点を整理しながら，聴くことができる。	（訊く） 相手の考えについて根拠の信頼性を判断しながら，訊くことができる。話された内容と自分の意見をふまえて疑問点を明確にし，相手にたずねることができる。
		聞いて質問することができる。 （やりとり1回）	さらに深めた質問ができる。 （やりとり2回）	質問の後に自分の意見を述べ，内容を深めることができる。 （やりとり3回以上）
意欲・態度	主体性	課題に対して，自分の考えを持ち，取り組もうとしている。	課題に対して，自分の考えを持ち，自ら進んで，取り組もうとしている。	自ら課題を見つけ，自分の考えを持ち，よりよい方法を選択し，自ら進んで，取り組もうとしている。

6 目標

- 傷害の防止について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組むことができる。
(関心・意欲・態度)
- 傷害の防止について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動により，科学的に考え，判断し，それらを表すことができる。
(思考・判断)
- 自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止，応急手当について，課題の解決に役立つ基礎知識的な事項及びそれらと生活の関わりを理解することができる。
(知識・理解)

7 単元の評価規準

健康・安全への関心・意欲態度	健康・安全への思考・判断	健康・安全への知識・理解
・傷害の防止について，課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・傷害の防止について，学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり，関係を見つけたりするなどして，筋道を立ててそれらを説明している。	・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり，書き出したりしている。

8 指導計画（全2時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			関 意	思 判	知 理	評価基準	資質・能力（評価方法）
プロローグ（単元を貫く問い）			傷害の防止のためには何が必要だろう？				
課題の設定	情報収集	1	○			<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 	行動観察)
					○		
整理・分析	まとめ・創造・表現	2		○		<ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 	表現力・コミュニケーション能力】 (行動観察 振り返りシート)
エピローグ（単元を貫く問いの解決）			予備知識と事前の備え				

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 南海トラフ大地震が発生した場合あなたのとる行動を考え、日常生活から取り組める防災を見つける。

(2) 本時の評価規準

傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 (思考・判断②)

(3) 準備物

ホワイトボードセット・モニター・iPad・スピーカー

(4) 学習の流れ（3時間目／全6時間）

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準 [観点] ★資質・能力 (評価方法)
1 南海トラフ地震について知る。[10分]		
・緊急地震速報の音声を聞く。	◇号令が終わったタイミングで生徒には分からないようにタブレットを操作して鳴らす。	
今、巨大地震が起きとったら？みんなは生き延びるために行動ができたかな？		
・南海トラフ大地震のシミュレーション映像を視聴する。 ・日本、広島、尾道の被害の概要について知る。		

2 本時の課題を設定する。												
学習課題： MEGA CRISIS 巨大危機！ ～南海トラフ大地震 その時あなたは どうする？～												
3 ねらいを確認する。[1分]												
本時ねらい：南海トラフ大地震が発生した場合あなたのとる行動を考え、日常生活から取り組める防災を見つける。												
4 グループ学習 [15分] (+2. 3分)												
〈ステップ1〉 地震発生による危険や被害を予測する。 〈ステップ2〉 安全な場所に避難する方法を考える。	◇グループ分けを行う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 日比崎中学校</td> <td style="width: 50%;">6 向島</td> </tr> <tr> <td>2 日比崎小学校</td> <td>7 広島市内</td> </tr> <tr> <td>3 イオン尾道</td> <td>8 マツダスタジアム</td> </tr> <tr> <td>4 東尾道</td> <td>9 東京都（地下鉄）</td> </tr> <tr> <td>5 因島</td> <td>10 高知県（桂浜）</td> </tr> </table> </div>	1 日比崎中学校	6 向島	2 日比崎小学校	7 広島市内	3 イオン尾道	8 マツダスタジアム	4 東尾道	9 東京都（地下鉄）	5 因島	10 高知県（桂浜）	★表現力・コミュニケーション能力（話し合い）
1 日比崎中学校	6 向島											
2 日比崎小学校	7 広島市内											
3 イオン尾道	8 マツダスタジアム											
4 東尾道	9 東京都（地下鉄）											
5 因島	10 高知県（桂浜）											
5 発表 [12分] (+2. 3分)												
・各班1分で発表する。	◇発表を聞きながらポイントに印をつける。	・傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 [思考・判断] （ホワイトボード）										
8 まとめ・振り返り [7分]												
・振り返りを書く。	◇											
生徒の振り返り例： ・地震が発生した時は、揺れによる被害だけでなく、津波や火災などの二次災害によっても被害が生じる。その防止には日頃から災害時の安全の確保に備えること、地震発生後に冷静に周囲の状況を判断すること、事前にテレビやラジオによる災害情報の収集をすることが大切ということがわかった。												
ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）												
尺度（評点・レベル）	記述語											
A（理想的）	二次災害や具体的な防止の例が2つ以上書かれている。											
B（合格）	二次災害・具体的な防止の例のいずれかのみが書かれている。											
C（乗り越えさせたい実態）	感想（地震に備えることが大切だとわかった。）											

(5) 板書計画

ねらい 南海トラフ大地震が発生した場合あなたのとる行動を考え、日常生活から取り組める防災を見つける。

学習課題 MEGA CRISIS 巨大危機！ ～南海トラフ大地震 その時あなたは どうする？～

南海トラフ大地震についての表